

施策番号	1113		
施策名	子どもの人権の尊重		
概要	児童虐待やいじめの防止等により子どもの権利を擁護し、子どもの人権を尊重する社会を構築するとともに、子どもたちの社会性や自主性、公共心を培う。		
担当局	保健福祉局	共管局	教育委員会・文化市民局
上位政策	111 ひとりひとりが個人として厚く尊重される		

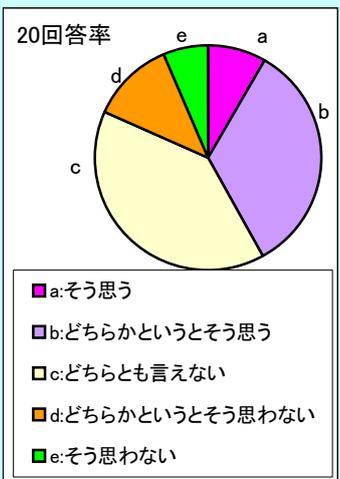
施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 虐待相談に対して速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（%）	d	b	98.0	96.6	100.0	96.6%	c
2 子ども子育ていきいきフェア参加人数（人）	-	a	11000	7500	12100	62.0%	e
3 虐待相談ホームページアクセス件数（件）	a	a	223616	301452	245978	122.6%	a
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	a	客観指標総合評価				c

2 市民生活実感評価

設問	一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	30	5.7%	33	7.2%	57	8.3%
b: どちらかというと思う	151	28.9%	133	29.1%	230	33.6%
c: どちらとも言えない	243	46.5%	203	44.4%	272	39.8%
d: どちらかというと思わない	73	14.0%	68	14.9%	81	11.8%
e: そう思わない	26	5.0%	20	4.4%	44	6.4%
有効回答数	523		457		684	
市民生活実感評価	c		c		c	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	a	c
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	B	C
重み付け	(理由)		
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	限られた客観指標では、効果が測定しにくい概念の大きな施策と考えられるため、市民生活実感評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は、昨年度のB評価からC評価に下がった。これは、客観指標の内、「子ども子育ていきいきフェア参加人数」が、当日雨天であったことにより減少し、a評価からe評価となったことによる。

一方、市民生活実感評価は、全国的に虐待相談通告件数が増加し、子どもの生命が奪われるなど重大な事件が後を絶たない状況下にあつて、横ばいとどまった。

今後の方向性としては、児童虐待への対応として、児童福祉司の専門性の向上など、引き続き児童相談所の機能強化を図るとともに、虐待事例に係る適切な情報提供を確保するため、市民一人ひとりが児童虐待問題についての理解をより一層深められるよう、これまで以上に積極的な広報・啓発活動を推進していく。

更に各行政区レベルでのより迅速な発見・対応が可能となるよう、保健所・子ども支援センターを中心とする関係機関の実務的なネットワークをより一層充実していく。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
(従)	1 子どもネットワーク運営	96,060	95,626	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
(従)	2 地域子育て支援ステーション	48,170	50,020	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
(従)	3 出産お祝いレター等お届け事業	6,822	6,822	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
(従)	4 自立援助ホーム運営補助	19,665	19,440	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
(従)	5 子ども・子育ていきいきフェア	9,996	0	効率化等による見直し	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
(従)	6 育児支援家庭訪問事業	71,310	68,414	現状のまま継続	保健福祉局児童家庭課 保健医療課
(従)	7 児童相談所運営	582,113	582,110	現状のまま継続	児童福祉センター
	8				
	9				
	合計	834,136	822,432		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	0 (0)	0 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1113	子どもの人権の尊重				
指標名	虐待相談に対して速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（％）					
担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380			
1 指標の説明						
児童相談所にあった児童虐待に関する相談・通告件数のうち、相談受付後48時間以内に児童の身柄の安全を確認、または必要な初期対応を行った件数の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
子どもの人権の侵害の恐れがある事態に対して早急に対応できているかを示す指数			48時間以内に安否、初期対応を行った件数÷虐待相談通告件数			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	98.0	96.6	1.4ポイント減	100.0	早期に対応が目標	96.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度目標に対する達成率が a：100% b：98%以上 c：96%以上 d：94%以上 e：94%未満		100%の達成を目標として、その達成をaとし、2%刻みで基準を設定した。		18	19	20
				d	b	c

指標名	子ども子育ていきいきフェア参加人数（人）					
担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380			
1 指標の説明						
子育てに関する機関・団体、企業や学生などが一堂に会し、子育ての楽しさや子どもたちの輝きが実感できるイベントへの参加者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民ぐるみで子育てを考えるきっかけづくりができているかを示す指標			参加者数概数			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	11000	7500	3,500人減	12100	前年度実績の1割増	62.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値	-	-	-	-	16年度まで実施していた子育て支援シンポジウムは、子ども子育ていきいきフェアの一部として実施。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満		平成17年度から新たに子ども子育ていきいきフェアを開催。前年度実績の1割増を単年度目標とし、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		18	19	20
				-	a	e

施策名	1113	子どもの人権の尊重
-----	------	-----------

指標名	虐待相談ホームページアクセス件数（件）
-----	---------------------

担当課	児童福祉センター	連絡先	801-2171
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

虐待相談ホームページ「あした笑顔になあれ～子どもSOS児童虐待防止ウェブサイト～」にアクセスされた件数（件）

2 指標の意味

児童虐待に関する情報発信に対する関心度合いを示す指標

3 算出方法・出典等

事業担当課集計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	223616	301452	77836件増	245978	前年度実績の1割増	122.6%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	-	-	-	-

備考	平成16年10月から開設
----	--------------

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a : 100%以上
b : 90%以上100%未満
c : 80%以上90%未満
d : 70%以上80%未満
e : 70%未満

6 基準説明

今後とも件数増が見込まれることから、前年度実績の1割増を単年度目標とし、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した

7 評価結果

18	19	20
a	a	a